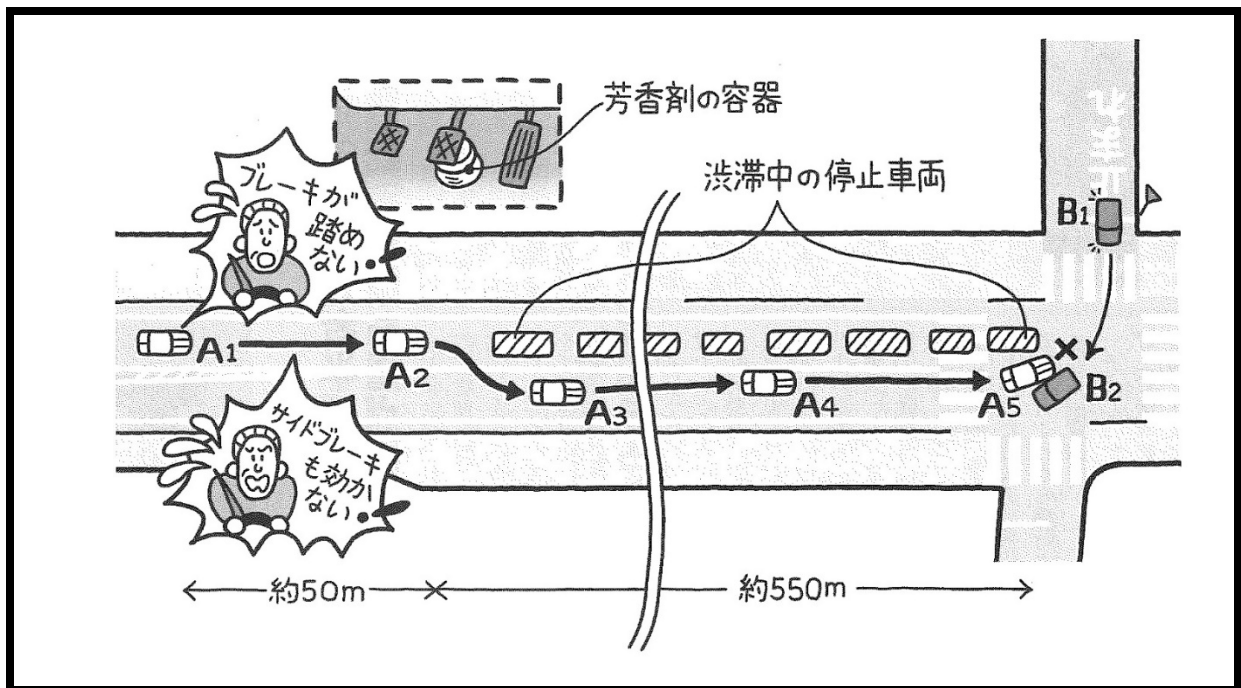


■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：平日 午前中

当事者A：普通乗用車 60歳代 男性

当事者B：普通乗用車 40歳代 女性

■ 事故の概要

Aは市街地の往復2車線道路を走行中、前方に渋滞中の車列を発見し、ブレーキを踏みこもうとしたところ、ペダルがまったく動かないという事態に気づきました。サイドブレーキを引いたものの、まったく効かなかったためスピードを落とすことができず、前車への衝突を避けるため、仕方なく対向車線に出て対向車を避けながら走行を続けましたが、交差点の左交差点路から右折してきたB車と出会い頭に衝突してしまいました。一方Bは信号機のない交差点を右折しようとして停止していました。交差車両のうち1台が道を譲ってくれたので右折を開始し、右方の車線に入ったとたん、逆走してきたA車の右前部と自車の右後部がすれ違う形で衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故原因はA車の床下に転がっていた円筒形の芳香剤のボトルが走行しているうちにブレーキペダルと床の隙間に入り込んでしまい、ブレーキペダルが踏み込めない状態になっていたことでした。また調査の結果、サイドブレーキは効き代の調整がされておらず、目一杯引いた時でもブレーキとして役立つ状態ではありませんでした。定期点検整備がきちんとできていなかったことも事故の要因となりました。

このような事故はダッシュボードや車室内に転がりそうなものは置かない、走行前に車室内外の安全点検を行うなど運転者のちょっとした注意で防ぐことができます。定期点検整備の実施や走行前の安全点検、確認が重要です。